

# かがやき通信



**気持ちのこと**  
・不安で眠れない  
・何もやる気が起きない



**体のこと**  
・痛い  
・息苦しい  
・だるい



**社会的なこと**  
・働きたいけど、働けない  
・子どもの世話ができない

## 緩和ケア

**治療によって生じること**

- ・しびれる
- ・食べられない
- ・外見が変わる

**人生に関すること**

- ・生きる意味
- ・将来への不安
- ・家族に迷惑をかけたくない

「緩和ケア」と聞くとどんなイメージを持たれるでしょうか。もしかしたら皆さんが思っているのと少し違うかもしれませんので、簡単に説明させていただきます。

まず、痛みなどの苦痛が強かったり治療が困難になったりした患者さんの多くは「緩和ケア外来」を受診されます。ここでは、痛みや先行きへの不安など、主に心と体の苦痛に対するケアをしています。なかには抗がん剤治療を受けながら緩和ケア外来に通院している患者さんもいます。また、全てのがん患者さんを対象とした「がんストレス外来」もあり、患者さんの様々な悩みや不安にも対応しています。

外来通院が困難になれば、通常「緩和ケア病棟」に入院していただきます。ここに入院すると「死を待つだけ」と思っている人が多いようですが、実際は痛みなどがなくなり、状態が落ち着いたので一旦退院される方も6〜7人に1人はいます。

実は緩和ケアはこれだけではありません。例えば、病院全体の中で心身のケアが必要だと思われるがん患者さんに対して、こちらから積極的に関わっていく「緩和ケアチーム」もあります。また、訪問看護や訪問診療といった形で緩和ケアを提供することも可能であり、その場合は「がん相談支援センター」が積極的にサポートしてくれます。

がんが診断された患者さんが、よりよく生きるためのサポートを緩和ケアはいろいろと提供していますので、ぜひ積極的に利用してみてください。お待ちしています。

## 「緩和ケア」って何？

「緩和ケア」と聞くとどんなイメージを持たれるでしょうか。もしかしたら皆さんが思っているのと少し違うかもしれませんので、簡単に説明させていただきます。

## 受診に関するお知らせ

### 選定療養費(初診時・再診時)について

**選定療養費制度**は高度・専門・救急医療を担う病院と診療所など地域の医療機関の役割を分担し、連携を図るためのものです。

●**初診時選定療養費**とは、診療科ごとの外来初回受診時に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない方にお支払いいただく費用です。

医科 7,700円(税込) 歯科 5,500円(税込)

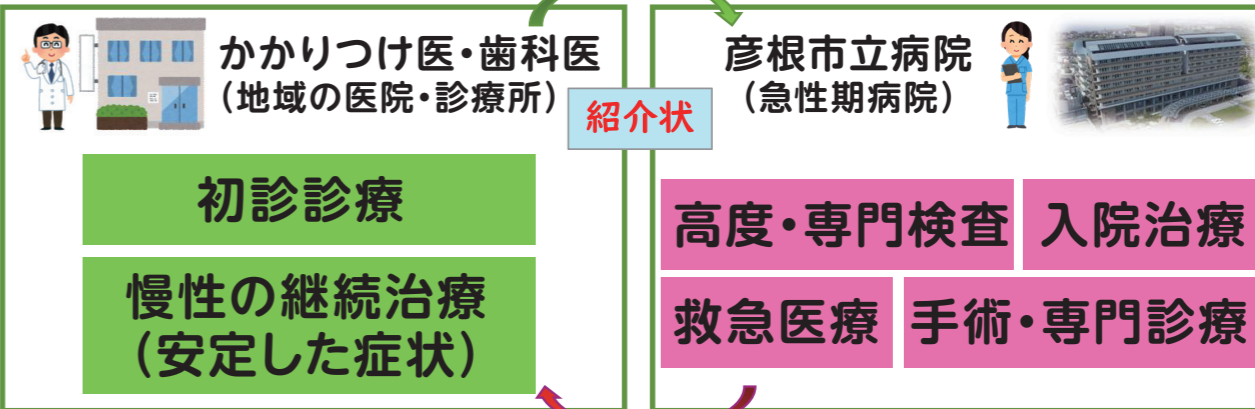
※紹介状の持参がなく、同じ日に複数の診療科を初診で受診された場合、それぞれの診療科において**初診時選定療養費**をご負担いただく場合があります。

●**再診時選定療養費**とは、当院から他の医療機関にご紹介したものの、患者さんのご都合により当院を再度受診された方にお支払いいただく費用です。

医科 3,300円(税込) 歯科 2,090円(税込)

**「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」を持ちましょう!**

まずは**「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」**を受診いただき、そのうえで必要な場合には、**紹介状**を持って当院をご受診ください。



住みなれた地域で健康をささえ、安心とぬくもりのある病院

## 彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882

TEL. 0749-22-6050(代)

FAX. 0749-26-0754

HP. <https://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp>

HPはこちら



彦根市立病院



かがやき通信  
バックナンバーは  
こちら



交通のご案内 ●名神彦根インターから車で約20分 ●JR南彦根駅からバスで約10分「市立病院前」下車すぐ ●JR彦根駅からバスで約20分「市立病院前」下車すぐ

### 外来受診時のご注意

当院初診時には、地域の医療機関からの紹介状が必要となります。また、地域の医療機関より予約をとっていただく診察や検査がスムーズにできます。※証明書や診断書の申込み、受取は、平日8時30分～16時に各診療科受付にお越しください。

●紹介状がない場合は、選定療養費がかかります。●整形外科・脳神経外科・脳神経内科・心療内科(予約制)については必ず紹介状をご持参ください。●病状が安定した後は、地域の医療機関への紹介を行っています。

※この「かがやき通信」は55,300部制作し、1部あたりの単価は5円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

ご理解・ご協力を!

院内  
節電  
実施中

# 知ってほしい！緩和ケアのこと

## ■緩和ケア提供体制の4本柱とは

皆さんは、当院が『緩和ケア4本柱』を備えた病院であることをご存じでしょうか。当院では、『緩和ケア外来』『在宅緩和ケアチーム』『緩和ケア病棟』『在宅緩和ケア』の4つの部門が連携し、質の高い緩和ケアの提供に取り組んでいます。当院の緩和ケアは、平成14年(2002年)の病院新築移転を機に『緩和ケア外来』と『緩和ケア病棟』を開設したことから始まりました。この小さな一歩が、現在の緩和ケア体制の出発点です。その後、一般病棟に入院されている患者さんに緩和ケアを提供するために『緩和ケアチーム』を設立し、さらに、通院が難しくなった方や、自宅で療養したいと希望される患者さんを支えるための在宅診療科を開設し、『在宅緩和ケア』という新しい取組を加えました。こうして、『緩和ケア外来』『在宅緩和ケアチーム』『緩和ケア病棟』『在宅緩和ケア』という4本の柱が揃い、入院から在宅まで切れ目のない緩和ケアを提供できる体制が整いました。



職員と患者さんが桜を楽しむお花見の様子

## ■緩和ケア外来

緩和ケア外来の役割は、がんに対して積極的な治療を行うことではありません。ですが、治療の途中でつらい症状や気持ちの不安を感じたときに、そのつらさを和らげるお手伝いをします。症状の緩和によってがん治療を続けやすくすることはもちろん、病の進行に合わせて苦痛をできるだけ少なくし、自分らしい時間を過ごせるよう支えることも大切な役割です。私たちは、患者さん一人ひとりの思いや価値観を大切に、希望する暮らしを継続できるように、医療と生活の両面からサポートします。



緩和ケアチームのスタッフ

## ■緩和ケアチーム

当院の緩和ケアチームは、医師・薬剤師・看護師・管理栄養士および医療ソーシャルワーカーの総勢17名の専門職で構成されています。痛みや不安を和らげ、少しでも安心して過ごしていただけるよう、患者さんのお部屋に伺い、さまざまな提案や支援を行っています。主治医や病棟スタッフとも連携し、一般病棟においても緩和ケアの考え方を大切にした医療を実践しています。

## ■緩和ケア病棟

当院の緩和ケア病棟では、痛みやつらさを和らげながら、患者さんとご家族が自分らしく穏やかに過ごせるよう支援しています。病棟では、誕生日のお祝いをはじめ、市民ボランティアによるアロママッサージや音楽セラピー、季節ごとの行事など、日々彩りを添える取組を行っています。また、懐かしい味を再現した「リクエストおやつ」も好評です。症状が落ち着けば、退院して元の生活に戻ることもできます。市民の皆さんにとって身近で安心できる場所として、かけがえない時間を支えています。



季節ごとの行事(クリスマス会)の様子



管理栄養士と調理師が心を込めて手作りのケーキです。

## ■在宅緩和ケア

当院の在宅診療科では、「住み慣れた場所で安心して療養を続けたい」、「最後まで家で過ごしたい」と希望する患者さんやご家族の思いを大切にしています。医師や看護師がご自宅を訪問し、痛みや不安を和らげるための緩和ケアを行いながら、安心して過ごせるよう支援しています。



患者さんのお宅へ出発!

## ■緩和ケアは、患者さんと

### ご家族の毎日を支えます

緩和ケアとの出会いに「早すぎる」ということはありません。体や心がつらいな、と感じたときは、どうぞ緩和ケアの扉をたたいてみてください。私たちが、誠心誠意お手伝いします。

## ■消化器外科医の立場から

がん治療においては、早期発見・早期治療により根治が期待できる場合がある一方で、診断時すでに転移を伴い、根治が困難な場合も少なくありません。

根治が難しい場合には、がんの進行を抑えながら、できるだけ普段どおりの生活を送れる期間を長くすること、いわゆる「がんと共存する」ことが治療の目的となります。その際、痛みなどの身体的症状や、抑うつ・不安といった心理的負担は、日常生活を送る上で大きな支障となります。

がん治療と並行して早期から緩和ケアを行うことで、生活の質(QOL)の向上だけでなく、がん治療そのものの効果が高まることも分かっています。

患者さん一人ひとりの状況に応じて、がん治療と緩和ケアを適切に組み合わせることが重要です。

緩和ケアに関するご相談は、かかりつけ医もしくは「がん相談支援センター」(当院4階)へお問い合わせください。